

<本件に関するお問い合わせ先>

日本銀行札幌支店 営業課（電話011-241-5232）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/sapporo/>

<当店ホームページ>



2020年12月14日

日本銀行札幌支店

金融経済概況

【全体感】

北海道地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。

すなわち、個人消費は、引き続き低い水準となっており、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。観光は、引き続き厳しい状況にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。輸出、住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は減少している。公共投資は高水準で推移している。生産は下げ止まっている。

雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

主要品目別にみると、食料品などで横ばい圏内の動きとなっている。この間、輸送用機器では、持ち直している。

設備投資は、減少している。

12月短観（北海道地区）における2020年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、引き続き低い水準となっており、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。

サービス消費、百貨店販売などでは、引き続き低い水準となっており、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。日用品や食料品では底堅い動きとなっている。

観光は、引き続き厳しい状況にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

新設住宅着工戸数をみると、持家は横ばい圏内の動きとなっている。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、下げ止まっている。

主要業種別にみると、電気機械などでは下げ止まっている。輸送機械では持ち直している。食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは低水準で推移している。

3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格を中心に前年を下回っている。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準で推移している。

6. 金融情勢

預金残高は、法人預金、個人預金ともに増加している。

貸出残高は、法人向け、個人向けともに増加している。

貸出金利は、既往ボトムの水準で推移している。

以 上